

ネポングリーンパッケージ室内機据付説明書

NGP1010T-N

電気工事の方法は、表面をご覧ください。
室外機の据付方法及び冷媒配管工事方法は、室外機付属の説明書をご覧ください。
試運転については、据付説明書(※)を必ずお読みください。室外機付属の説明書に従ってください。
省エネハイブリッド制御盤(NT-650)は別途ご購入ください。
省エネハイブリッド制御盤1台につき、NGP1010T(室内機+室外機のセット)8台まで接続可能です。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**に区分してありますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの方法を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管頂くように依頼してください。

△ 警告

- 据付は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書にしたがって確実に行ってください。据付に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
- グリーンパッケージをハウスへ据付の場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据付してください。万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないと、酸欠事故の原因となります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、転倒による事故の原因になることがあります。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になることがあります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や据付不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようクランプで確実に固定してください。接続が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
- 配線は、浮き上がらないように整形し、制御箱の扉・サービスパネルを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合は発熱、火災の原因になります。
- グリーンパッケージの設置や移動の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させないでください。空気等が混入すると、冷凍サイクル内に異常高圧になり破裂、ケガの原因になります。
- 設置工事は、必ず付属部品及び指定の部品を使用してください。当社の指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良の原因になります。
- ドレン配管は硫黄系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れないでください。ハウス内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスがハウス内に漏れ、直火形炭酸ガス発生機、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 室内機の搬入は、重量に適合した1インチパイプを所定の穴に通して行ってください。搬入方法に不備があると室内機が落下し、死亡や重傷の原因になります。
- 据付時やサービス時など機器内部の作業を行う場合は電源を切ってから行ってください。感電の原因になります。

△ 注意

- D種接地工事を行ってください。D種接地工事は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。D種接地工事が不完全な場合は、誤動作や感電の原因になることがあります。
- 漏電遮断器の取付けを必ず行ってください。漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。据付に不備があると、異常振動・騒音増大の原因になります。
- 可燃ガスの漏れの恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れて周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。
- ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するようにし、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると、水漏れし、ハウス内等を濡らす原因になることがあります。
- ドレン配管は下り勾配(1/50~1/100)とし、トラップを付けてください。試運転時排水が確実に行われていること、水漏れのないことを確認してください。
- 点検、メンテナンス作業のための規定スペースを確保してください。スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- 油の飛沫や蒸気の多い所(例:調理場、機械工場)、外気流入しやすい所の据付、使用は避けてください。熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- 腐食性ガス(亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス(シンナー、ガソリン等)の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取り扱う所の据付、使用は避けてください。熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
- 電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでの据付、使用は避けてください。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
- 潮風が当たる所(海浜地区)での据付、使用は避けてください。外板、熱交換器の腐食の原因になります。
- 省エネハイブリッド制御盤(NT-650)間の通信線および各センサー線は、他の動力線(電源線)や制御線から必ず50cm以上離す、または動力線などと配線経路を別にとるなどして施工してください。動力線などと一緒になると、過大サージで誤動作や故障のおそれがあります。

お願い

- 下記に示すような場所での据付、使用は避けてください。
- ▶ 油の飛沫や蒸気の多い所(例:調理場、機械工場)は、熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- ▶ 腐食性ガス(亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス(シンナー、ガソリンなど)の発生、滞留の可能性のある場所では、熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
- ▶ 電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くはノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
- ▶ 潮風が当たる所(海浜地区)での据付、使用は避けてください。外板、熱交換器の腐食の原因になります。
- ▶ 農業散布時には、機器にカバーを掛けるなどして、農業が直接機器に掛らないようにしてください。

△ 注意

- 下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。
- ▶ D種接地工事を行ってください。D種接地工事は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。D種接地工事が不完全な場合は誤動作や感電の原因になることがあります。
- ▶ 漏電遮断器の取付けが必要で、漏電遮断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- ▶ グリーンパッケージの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付に不備があると室内機の転倒によるケガや振動及び運転音増大の原因になります。
- ▶ 冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度(0.3kg/m³)を超える恐れがある場合は、窒息防止のためハウスの開口部にガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置等の取付けが必要となりますので、お買上げの販売店にご相談ください。
- ▶ NGP制御盤と省エネハイブリッド制御盤(NT-650)間の通信線および各センサー線は、他の動力線(電源線)や制御線から必ず50cm以上離す、または動力線などと配線経路を別にとるなどして施工してください。動力線などと一緒になると、過大サージで誤動作や故障のおそれがあります。

＜お願い事項＞

- 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法)をご説明ください。

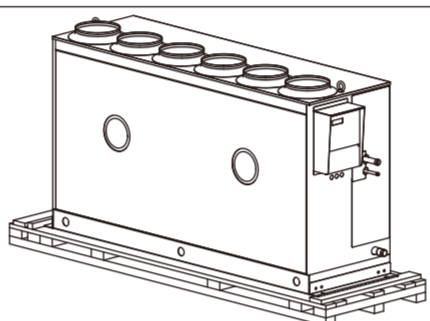
① 据付のまえに

- 据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
- 工事計画にあてておられますか。

機種・電源仕様
確認してください

付属品

品名	数量
取扱説明書	1
据付説明書(本紙)	1
保証書	1
お問い合わせ窓口のご案内	1



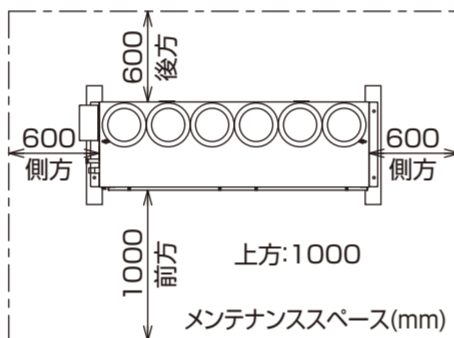
工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外の据付はしっかりしていますか。	転倒・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない・暖まらない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
D種接地工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外の吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない・暖まらない	

② 室内機の据付場所の選定

1.室内機の据付&メンテナンススペース

- ここに示す据付&メンテナンススペース、運転範囲は必ず守ってください。(メンテナンス時ならびに能力確保のための最小スペースです)
- 室内機の振動が建物に伝わるのを防ぐため、壁面に接触させないようにしてください。(コンクリートブロック含む) また後方吹出すときは必要に応じてスペースを確保してください。
- 吹出側は、現地接続のダクト施工寸法や吹出方向を検討し、無理のないスペースを確保してください。



2.据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- 床面は水平で、室内機重量に耐えられる強固な所。
- 冷風または温風が十分行きわたる所。
- 室外への配管、配線のしやすい所。
- ドレン排水が完全にできる所。ドレン勾配のとれる所。
- 吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災警報器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
- 床面も含め、常に水がかかるといった場所には設置しないでください。
- 周囲の露点温度が28℃以下の所。
- 高湿度の所に据付ける場合は本体の断熱等露点に対する配慮をしてください。本機は、JIS露点条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、機器周囲が上記条件の高湿度雰囲気の状態だと、水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、機器本体全ての配管、ドレン配管にさらに10mm~20mmの断熱材を取付けてください。また、吹出ダクトに露が付き機器本体に滴下するときは、吹出ダクトに断熱材を貼付けて機器本体へ滴下しないようにしてください。
- 高湿度条件で使用し、機器本体、吹出ダクト、冷媒配管、ドレン配管などに露が付き滴下したとき、不都合が発生する場所に据付けるときは適宜断熱材を貼付けてください。

運転範囲

冷房・除湿・暖房運転は下表の使用温度範囲でお使いください。

運転のしかた	使用温度範囲
省エネハイブリッド制御盤 [※] (NT-650)で運転する場合	7~30℃

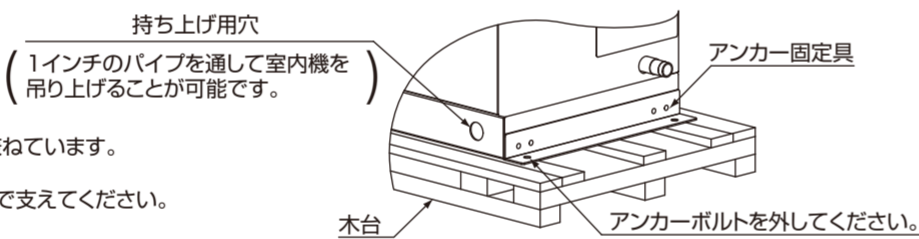
△ 警告

- ハイブリッド制御では、暖房負荷に応じた能力のハウスカオンキなどを必ず省エネハイブリッド制御盤(NT-650)に接続してご使用ください。外気温が低下すると、暖房能力が低下します。ハウスカオンキなどを接続していないと、室温が低下して低温障害などの作物被害や機器故障のおそれがあります。

③ 室内機の搬入、据付

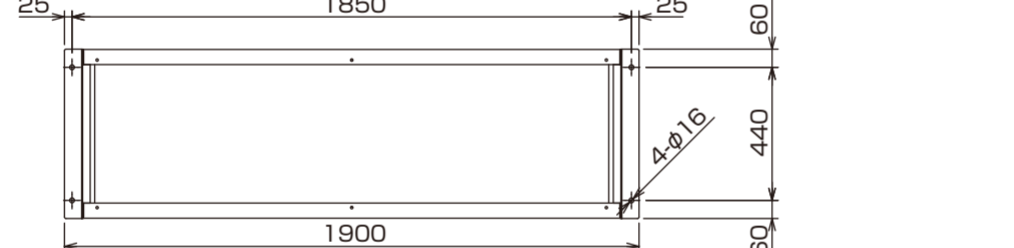
搬入

- 搬入時はできるだけ据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
- やむをえず開梱して搬入する場合は、ナイロンリングなどで包み室内機を傷つけないよう注意してください。
- 室内機のアンカー固定具は、梱包固定を兼ねています。
- 外板の中央部は強く押さないでください。変形防止のため、できるだけ角や辺の近くで支えてください。



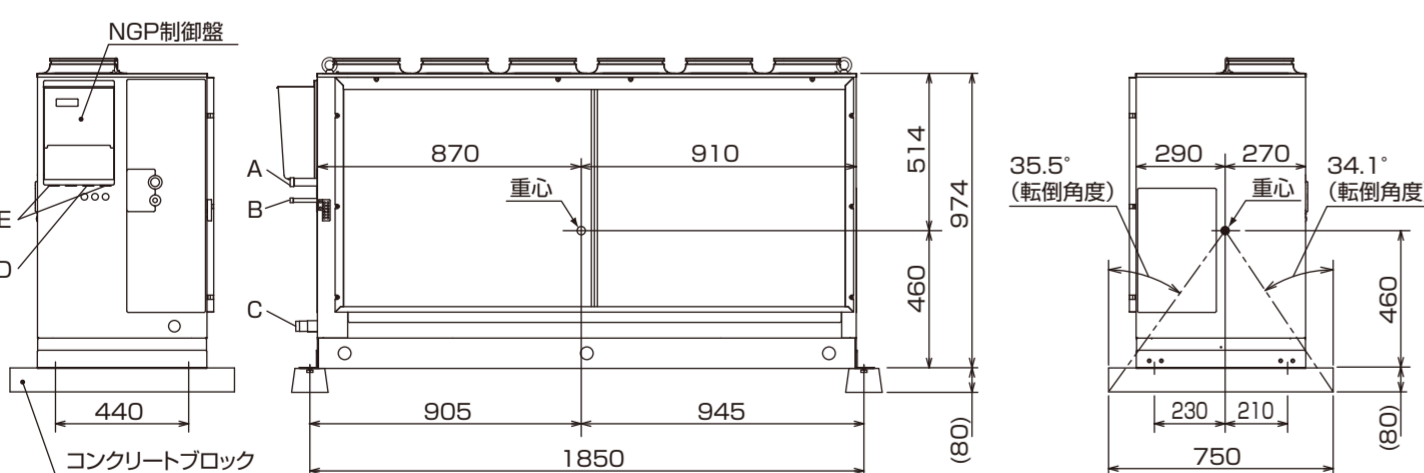
据付

<室内機固定穴位置>



④ 配管・配線取り出し・重心

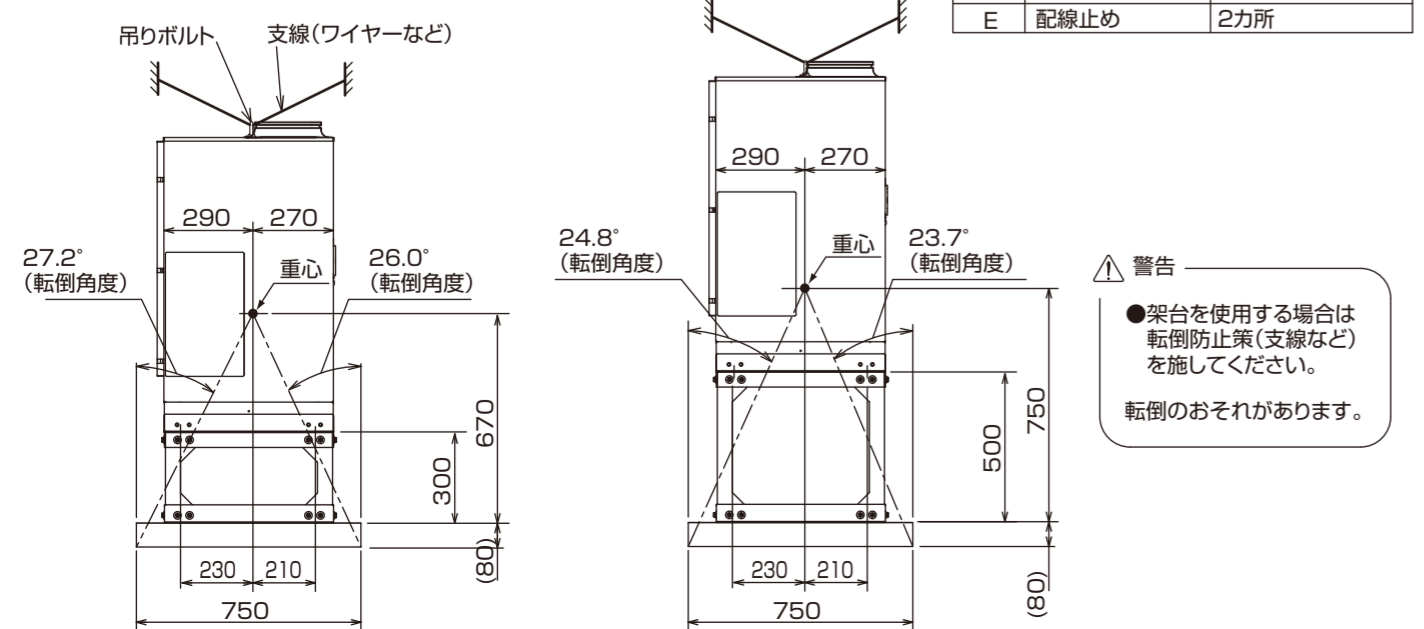
- 1.配管、配線の取り出しは下図に示す位置より行ってください。
- 2.室内機の重心を下図に示します。室内機が転倒しないよう注意して据付してください。



●架台 高さ300mm(別売品)を使用する場合

●架台 高さ500mm(別売品)を使用する場合

記号	内 容
A	冷媒ガス側配管 φ25.4(ろう付)
B	冷媒液側配管 φ12.7(ろう付)
C	ドレン配管接続口 R1
D	電源配線取入口 φ42(クロメット付)
E	配線止め 2カ所



- 架台を使用する場合は転倒防止策(支線など)を施してください。転倒のおそれがあります。

⑤ 冷媒配管・吹出口

1.冷媒配管接続口径、接続方法

液配管	φ12.7	ろう付接続
ガス配管	φ25.4	

- 配管は下記材質のものをご使用ください。(材質)リン脱炭鋼無銅管(C1220T, JIS H3300)
- 配管の曲げはできるだけ大半径で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
- 配管は、ねじたり、つぶしたりしないでください。
- 配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないように施工してください。
- 室内機サービスパネルを取出し可能とするため、配管方向がどのような方向でも必ず室内機から400mm以上のストレート部分を設けてください。
- ろう付作業時は、ろう付部周囲を過熱しないように濡れタオル等で冷やしながら実施してください。
- 室内機の配管接続部は、ガス漏れチェック後、断熱を行ってください。

ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

- ※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
- ・ろう付接続部は、断熱材(現地手配)をかぶせ、断熱してください。

冷媒配管工事をされる方へ

- 冷媒は、室外機に充填されています。銘板の「冷媒封入量」の欄をご覧ください。
- 室外機は三菱重工工業株式会社製(型式:FDCVP2803HG)を使用します。グリーンパッケージでは、室内機(型式:NGP1010T-N)と組み合わせる場合があります。冷媒封入不要の配管長さおよび最大配管長さは、室外機の据付説明書の数値と冷媒追加封入量は、以下の表の数値を基準に計算してください。これ以外のことは、室外機の据付説明書に従ってください。

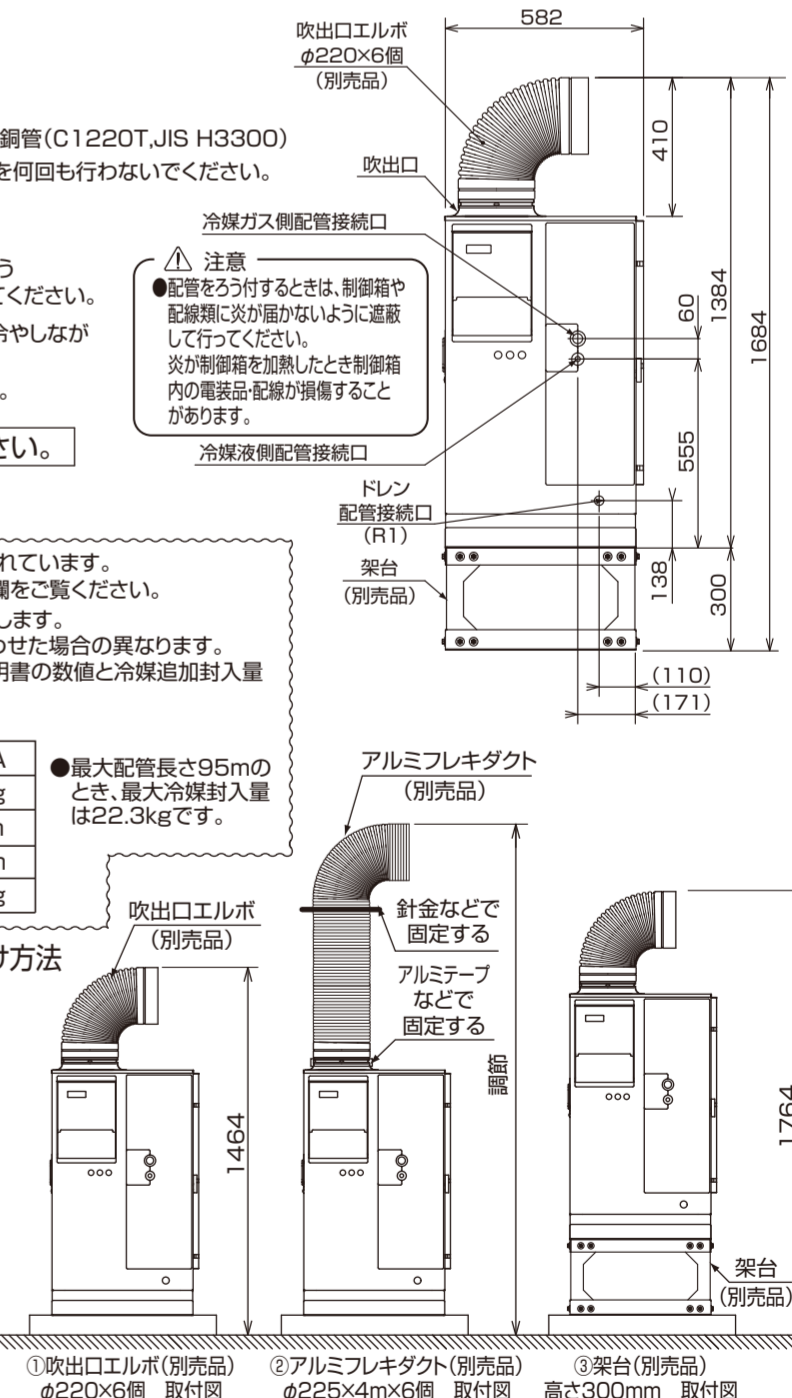
使用冷媒	R410A	●最大配管長さ95mのとき、最大冷媒封入量は22.3kgです。
工場出荷時封入量	11.5kg	
冷媒封入不要の現地配管長さ	5m	
最大配管長さ	95m	
冷媒配管(液管)1m当たりの追加封入量	0.12kg	

2.吹出口エルボ、アルミフレキダクト(別売品)の取り付け方法

- 吹出口エルボおよびアルミフレキダクト(φ225)は別売品です。
- 架台(別売品)と組み合わせると吹出位置(高さ)を変更できます。右図①②③参照
- 吹出口エルボは吹出口に付属品のねじで固定します。
- アルミフレキダクト(φ225)は、吹出口部に抜けないようにアルミテープなどで固定し、上部は針金等で支持して固定してください。

3.架台の取り付け方法

- 架台は別売品です。
- 架台は高さ300mmと500mmがあります。
- 吹出口エルボやアルミフレキダクト(別売品)と組み合わせると吹出位置(高さ)を変更できます。右図①②③参照
- 架台は室内機の底面に付属品のナットで固定します。

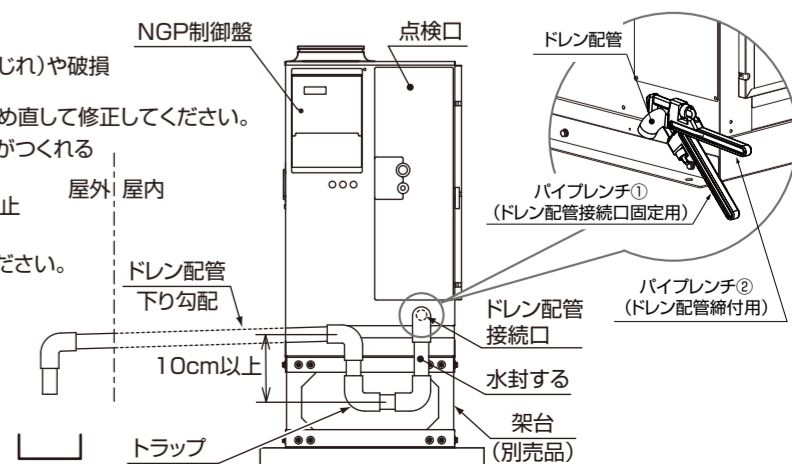


⑥ ドレン配管

- 配管施工後、排水が良好に行われていること、水漏れのないことをご確認ください。
- ドレン配管を接続する場合には室内機側の配管に力を加えないように、パイプレンチ2本を使ってドレン配管(25A)を固定してください。パイプレンチ①でドレン配管接続口が動かないように固定し、パイプレンチ②で接続するドレン配管を締め付けてください。
- ドレン配管取り付けの際は、点検口を開けて、ドレンパンが変形(よじれ)や破損していないか確認してください。変形(よじれ)している場合は、水漏れのおそれがありますので、締め直して修正してください。
- ドレン配管は下り勾配(1/50~1/100)とし、10cm以上の水封がつけられるトラップを付けてください。(臭気止め、逆流防止の為)
- 施工後のドレン配管は、結露する場合があります。結露水の滴下防止が必要となすにはドレン配管を断熱してください。
- ドレン配管の出口は臭気発生する恐れのない場所に施工してください。

△ 警告

- ドレン配管は硫黄系ガス等有毒ガス及び可燃性ガスの発生する排水溝に直接入れないでください。室内に有毒ガス及び可燃性ガスが侵入する恐れがあります。



電気配線工事

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

A 電源・室内外接続線

お願い
室内外接続線は3心ケーブルを使用してください。

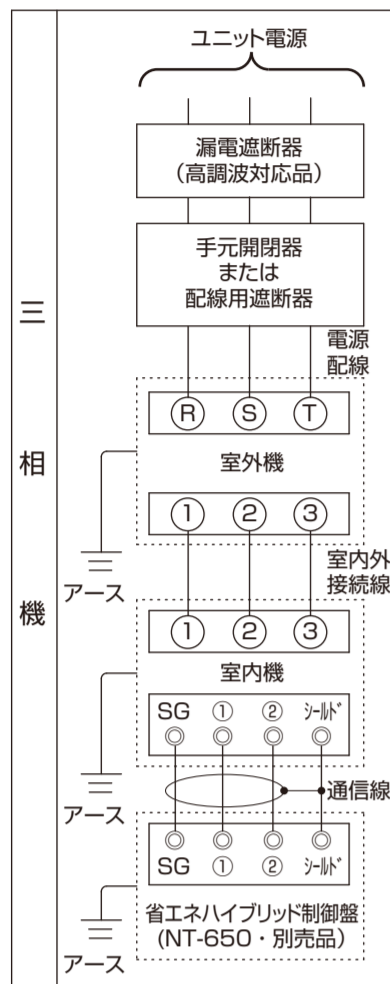
警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

注意

- D種接地工事(100Ω以下)を行う。D種接地工事は、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。D種接地工事が不完全な場合は感電の原因になります。
- 電源には必ず漏電遮断器(高調波対応品)を取付ける。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
- 正しい容量のブレーカー(漏電遮断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線用遮断器)を使用する。大きな容量のブレーカーを使用すると、故障や火災等の原因になります。

結線



- ① 電源の取り方は左図により、行ってください。室内機電源取り及び室内外機別電源取りはできません。(ヒータの組込みは不可。) ※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照のうえ、所種の電力会社にご相談の上指示に従ってください。
- ② 室内外接続線は極性が異なりますので、必ず同一端子台番号間を接続してください。
- ③ 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、高調波対応品(三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
- ④ 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用遮断器が必要となります。
- ⑤ 室外機、室内機、省エネハイブリッド制御盤(NT-650)にアース工事(D種接地工事)を施してください。
- ⑥ NGP制御盤と省エネハイブリッド制御盤(NT-650)間の通信線および各センサー線は、他の動力線(電源線)や制御線から必ず50cm以上離す、または動力線などと配線経路を別にとるなどして施工してください。

開閉器・配線仕様

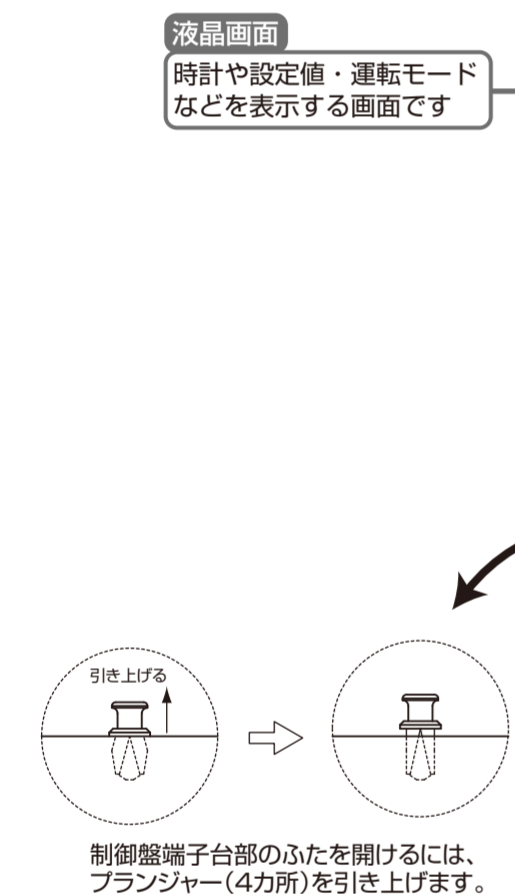
<シングル機・ヒートレス>

- 注(1) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
- (2) 室内外接続線は120mまでとしてください。
- (3) 高調波対応品の遮断器を使用してください。
- (4) 通信線の仕様は「◎省エネハイブリッド制御盤(NT-650)による複数台グリーンパッケージ制御」参照

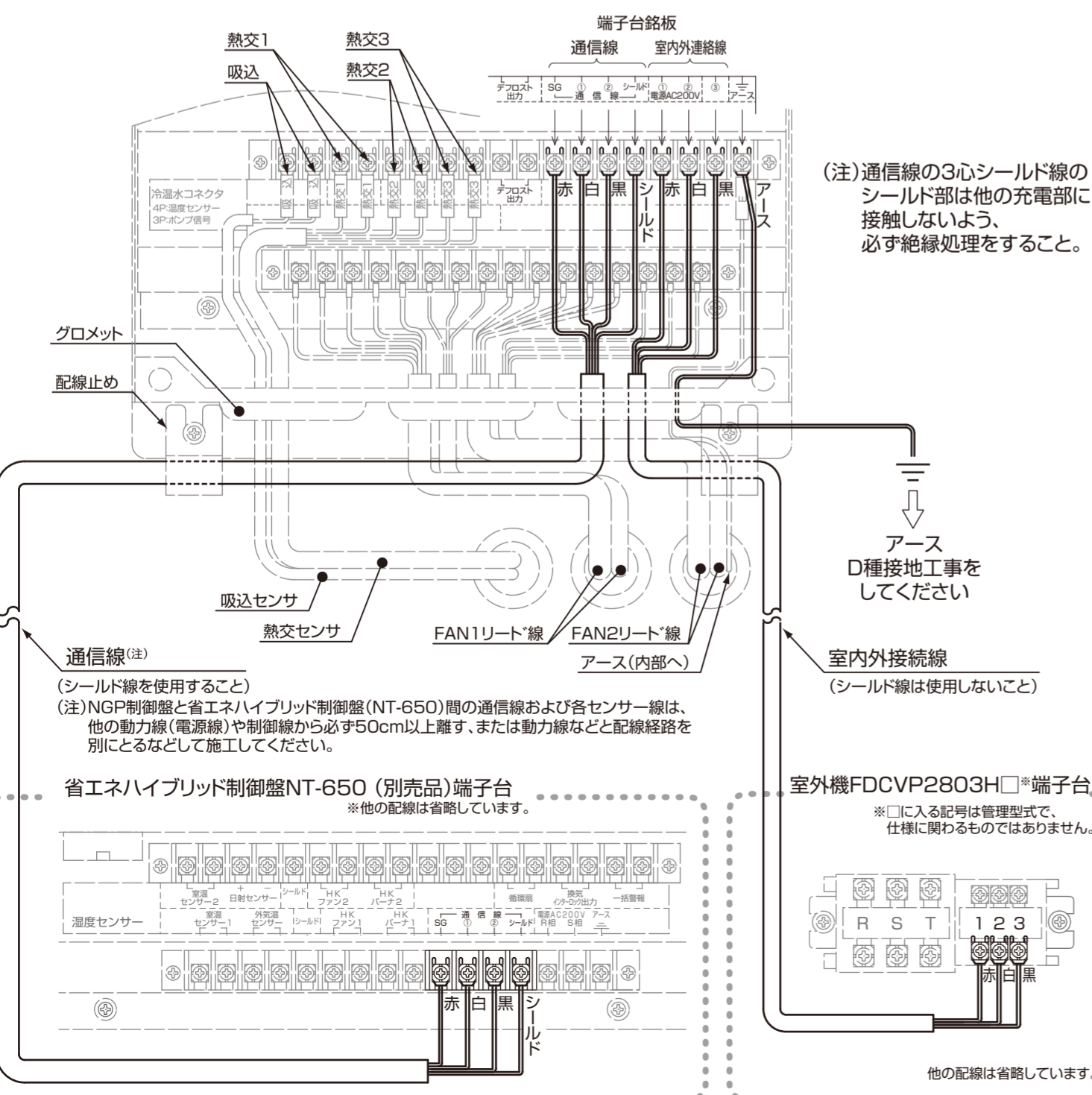
漏電遮断器	手元開閉器	配線用遮断器	電源配線 ^{注(1)}	室内外接続線 ^{注(2)}	アース線
定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	太さX本数	こう長	太さ
50A 100mA 0.1sec以下	60A	50A	50A	14.0mm ² X3 48m	VCT 2.0mm ² X3(70mまで) 3.5mm ² X3(120mまで)
					5.5mm ² M6

制御箱及び電気配線接続

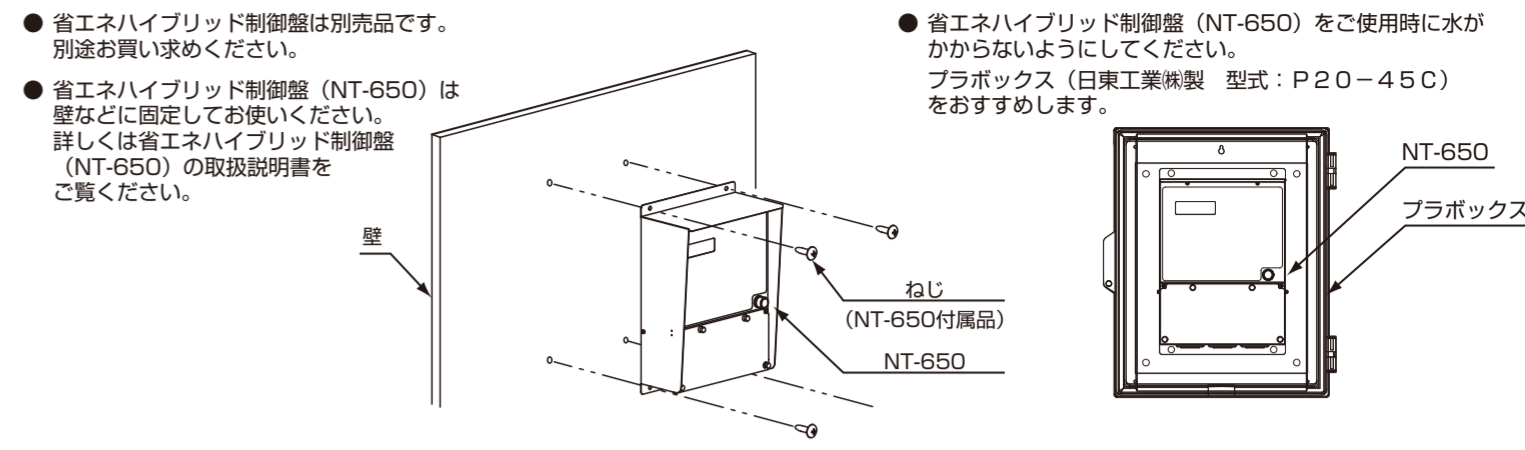
(1) 制御箱



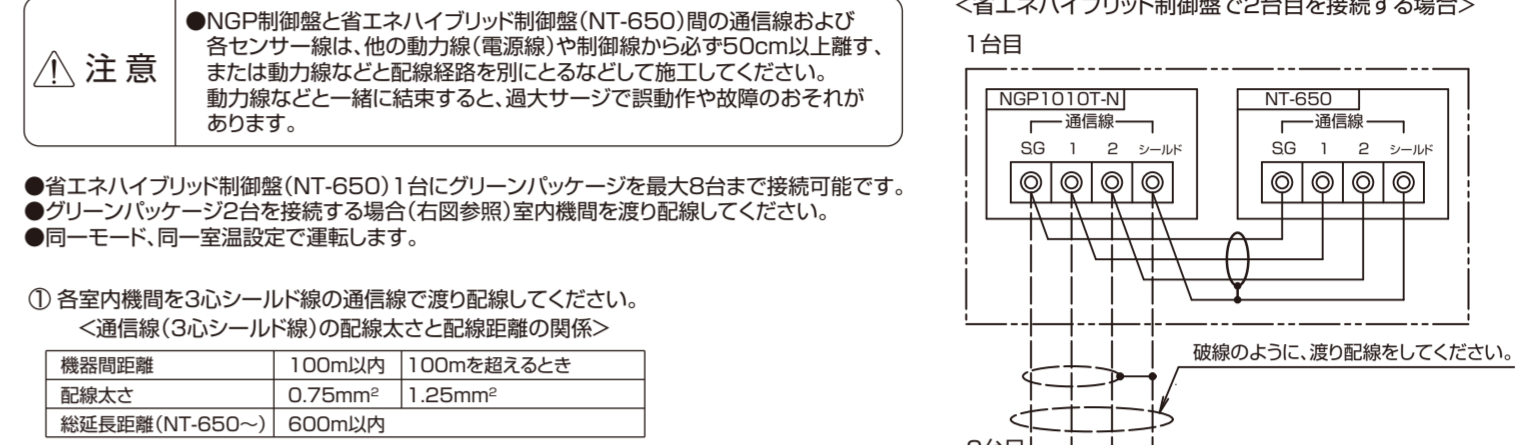
(2) NGP制御盤端子台接続配線詳細図



B 省エネハイブリッド制御盤(NT-650)の設置方法



C 省エネハイブリッド制御盤(NT-650)によるグリーンパッケージ複数台制御



D NGP制御盤の機能設定

現在画面の表示

- 右の【表1】の内容を表示します。電源を立ち上げ、起動画面後、通常使用中に表示される画面です。
- 【操作手順】
① [設定] ボタンで液晶画面が切り替わります。(現在画面は通常2画面)

通信ID設定

- 右の【表2】の通信ID設定を表示する画面です。
- 【操作手順】
① 室内機のNGP制御盤の [設定] ボタンを押して「通信ID設定」画面にしてください。室内機ごとにIDアドレスを1~8の数字を設定して下さい。 ※例えば2台接続するときは、IDアドレスは1と2を選び設定します。 ※IDアドレスは、数字が若い順から選択してください。
- ② 省エネハイブリッド制御盤(NT-650)は [設定] ボタン長押しを2回行い、「接続台数」を [▲▼] ボタンで選択してください。 ※例えば2台接続するときは、「接続台数」を2に合わせます。
- ③ 正しく設定されていないと、通信エラー「E01」をおこし、エラーランプ(赤)が点灯し、液晶画面に「E01」を表示します。その場合は室内機の各IDアドレスと省エネハイブリッド制御盤(NT-650)の接続台数が一致するが確認してください。
- ④ 通信ID設定は、定期点検やサービスのため、室内機取扱説明書の付録ID設定とハウス内設置の記録に記入してください。

その他の機能設定

- 室内機の各機能の設定は標準的な使い方で初期設定に自動的に設定されます。
- 標準的な設定をする場合は、設定の変更は不要です。ただし、右表の初期設定を変更する場合はその機能のみ、設定を変更して下さい。
- 【操作手順】
① [設定] ボタンで液晶画面が切り替わります。
② 初期設定の値を変更する場合は、[設定] ボタンで変更する範囲数値に合わせてから、[▲▼] ボタンで初期値を変更してください。

注1) 省エネハイブリッド制御盤(NT-650)は接続台数を設定します。省エネハイブリッド制御盤(NT-650)の接続台数とグリーンパッケージのNGP制御盤の通信IDの最大数が合わない通信エラー(E01)となりエラーランプが点灯します。

注2) IDアドレスは、数字が若い順から選択してください。

E 試運転操作

- 試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。圧縮機が故障するおそれがあります。
- 試運転の前に室外機の据付説明書を必ずお読みください。

試運転は室外機から行ってください。試運転時、省エネハイブリッド制御盤(NT-650)は接続されているすべての室内機の「運転/停止」ボタンを押して運転を「待機(停止)」にしてから試運転を行ってください。室外機の据付説明書(「5.試運転」)に従って試運転を行ってください。室外機の「現地設定スイッチSW3-3,4」により室外機から運転して下さい。30分間の試運転のあと自動的に停止します。試運転終了後は、必ず室外機のSW3-3をOFFにもどしてください。また室外機からの試運転が終了すると室内機は「待機(停止)」となりますので、試運転前に「運転」であった場合は、必ず室内機の「運転/停止」ボタンを押して「ウンテン(運転)」にしてください。その後、省エネハイブリッド制御盤(NT-650)の暖房/冷房温室管理運転の設定を行ってください。省エネハイブリッド制御盤(NT-650)の取扱いの詳細については付属の取扱説明書を参照してください。

運転データの確認

●室内機のNGP制御盤の操作により、運転データの確認が出来ます。【操作手順】
① [保守] ボタンで長押し(1~2秒)で保守画面が表示されます。
② ①の画面から [保守] ボタンを押すと画面が切り替わります(保守画面は10画面)
③ [表示] ボタンを押すと「現在画面」に戻ります。
※保守画面は現在の保守データを表示する画面ですが、保守画面表示状態ではデータは更新されません。

表示順	画面表題	内容	表示順	画面表題	内容
画面1	保守データ1/10	- 保守データの日時 01 エラー内機: E、外機: E (エラー情報)	画面6	保守データ6/10	26 低圧LP_MPa (低圧) 27 吐出温度 °C (吐出管温度)
画面2	保守データ2/10	02 運転モード: 冷房/暖房/停止 03 設定温度 °C 04 吸込み温度 °C	画面7	保守データ7/10	28 ドーム下温度 °C (ドーム下温度) 29 CT(amp) A (CT1電流) 30 SH制御 °C (SH制御値)
画面3	保守データ3/10	05 室温 °C 06 TH-R1 °C (室内熱交温度/Uイベント) 07 TH-R2 °C (室内熱交温度/キャピラリ) 08 TH-R3 °C (室内熱交温度/ガスヘッド)	画面8	保守データ8/10	31 SH °C (実SH) 32 保護制御No. (コンパ保護ステータスNo.) 33 外気ファン 速 (室外ファン速調)
画面4	保守データ4/10	09 要求 Hz (要求コンプレッサー周波数) 12 室内運転 時間 (室内機運転時間) 21 外気温度 °C 22 THO-R1温度 °C (室外熱交センサ)	画面9	保守データ9/10	34 63H1機能 (63H1 ON/OFF) 35 デフロスト運転 (デフロストON/OFF) 37 コンパ時間 時間 (コンパ運転積算時間)
画面5	保守データ5/10	23 室外機運転 時間 (室外機運転時間) 24 THO-R2温度 °C (室外熱交センサ) 25 室温 °C (コンプレッサー周波数)	画面10	保守データ10/10	38 EEVC開度 PLS (室外膨張弁開度EEVC) 39 EEVH開度 PLS (室外膨張弁開度EEVH) 40 コンパ吸入 °C (コンパ吸入管温度)

●詳しくは、グリーンパッケージ (NGP1010T) 付属の取扱説明書を参照してください。

製品に関するお問い合わせは・・・

お買い上げの販売店 または お近くのネボン営業所

サービスセンター ☎(046) 247-3195 月曜日～金曜日 9:00～17:00

ネボン株式会社 本社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

現場に配慮した紙を使用しています。